

医学教育モデル・コア・カリキュラム(卒前)

1 プロフェッショナリズム

人の命に深く関わり健康を守るという医師の職責を十分に自覚し、患者中心の医療を実践しながら、医師としての道(みち)を極めていく。

臨床研修の到達目標(卒後)

医師としての基本的価値観

1. 社会的使命と公正性

医師としての社会的使命を自覚し、社会のニーズとその変化に目を向け、患者の福利を最優先とし、信頼に値する誠実さや公正性(平等な医療の提供、限りある資源の公正な配分、説明責任の履行など)を示す。

2. 公衆衛生の向上への寄与

人の集団や地域を対象に、健康や疾病予防の課題に取り組む。

3. 人間性の尊重

患者や家族に誠実に向き合い、個々人の有する知識や感情、意向、また社会的・文化的な背景に配慮し、患者や家族の利得最大化に努める。

4. 自らを高める姿勢

自身の心身の状況と周囲の状況に適切に対応し、生涯にわたり自らを振り返り、向上を図る。

資質・能力

1. 医学・医療における倫理性

診療、医療分野の研究や教育に関する倫理的な問題を認識し、対応する。

初期臨床研修到達目標と医学教育モデル・コア・カリキュラムの関係について(案)

医学教育モデル・コア・カリキュラム(卒前)

2 医学知識と問題対応能力

発展し続ける医学の中で必要な知識を身につけ、根拠に基づく医療(EBM)を基盤に、経験も踏まえながら、幅広い症候・病態・疾患に対応する。

3 診療技能と患者ケア

臨床技能を磨くとともにそれらを用い、また患者の苦痛や不安感に配慮しながら、診療を実践する。

4 コミュニケーション能力

患者の心理・社会的背景を踏まえながら、患者およびその家族と良好な関係性を築き、意思決定する。

5 チーム医療の実践

医療・保健・福祉ならびに患者に関わる全ての人々の役割を理解し、連携する。

6 医療の質と安全の管理

患者および医療者にとって、良質で安全な医療を提供する。

7 社会における医療の実践

医療人に求められる社会的役割を担い、地域社会と国際社会に貢献する。

8 科学的探究

医学・医療の発展のための医学研究の必要性を十分に理解し、批判的思考も身につけながら、学術・研究活動に関与する。

9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢

医療の質の向上のために絶えず省察し、他の医師・医療者と共に研鑽しながら、生涯にわたって自律的に学び続ける。

臨床研修の到達目標(卒後)

2. 医学知識と問題対応能力

発展し続ける医学の中で必要な知識を獲得し、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえて、幅広い症候・病態・疾患に対応する。

3. 診療技能と患者ケア

臨床技能を磨くとともに、それらを用いて患者の苦痛や不安感、意向に配慮しながら、診療を実践する。

4. コミュニケーション能力

患者の心理・社会的背景を踏まえながら、患者や家族と良好な関係性を築く。

5. チーム医療の実践

医療従事者をはじめ、患者や家族に関わる全ての人々を理解し、連携する。

6. 医療の質と安全の管理

患者および医療従事者にとって、良質かつ安全な医療を提供する。

7. 社会における医療の実践

医療の持つ社会的側面の重要性を踏まえ、各種医療制度・システムを理解し、地域社会と国際社会に貢献する。

8. 科学的探究

医学と医療における科学的アプローチを理解し、学術活動を通じて、医学医療の発展に寄与する。

9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢

医療の質の向上のために絶えず省察し、他の医師・医療者と共に研鑽しながら、後進の育成にも携わり、生涯にわたって自律的に学び続ける。